



響

H i b i k i



令和2年5月22日



東信教育事務所だより「響」通常版では、各学校での取組の良さを中心にお伝えしてまいりました。今年度はさらに、新型コロナウイルス感染防止に関わる各学校での工夫など新しい情報を端的にお伝えできるよう、「ショート号」として随時発行してまいります。通常版とあわせて各学校でお役立ていただけますと幸いです。

がんばっています！ ～初任者のみなさんの声～

本年度の初任研スタート研修は、総合教育センターで一堂に会することなく、自校での代替研修となりました。代替研修の振り返りの一部を紹介します。

数回しか学校に来ることができていない生徒たちへの心のケアに不安を感じています。

休業明けに気持ちを整え、落ち着いて学校生活を再開できるのか心配です。



子どもと共に成長できるよう一生懸命取り組む教師を目指したいです。

生徒の困っていることを共に解決できるような教師を目指したい。



子どもたちFirstであり続けられる支援のできる教師を目指したい。

自分自身が今できる事を常に研修し、実践する教師を目指したいです。

振り返りの記述からは、不安を抱えつつもしっかり前を見据え、教師として自分を高めようとする思いが伝わってきます。予測困難な状況ですが、困ったときには、周りの先生方に助けていただきながら一步一步進めていきましょう。もちろん私たち東信教育事務所も全力でみなさんを応援します！

ー各種研修会議の中止・延期等についてー

東信教育事務所 学校教育課 (5月22日現在)

< 各種研修会等 >

日時	各種研修会名	対応
5月26日 (火)	特支初任研専門研修A	中止 動画視聴、レポート作成で代替
5月28日 (木)	第1回外国籍等児童生徒研修	中止 代替としてDVDを配布
6月2日 (火)	初任研教師力向上研修Ⅰ 授業力向上研修Ⅰ	同時実施 10校に分かれて実施。
6月25日 (木)	東信社会人権教育研修会	延期 期日調整中

分散登校中の「学びの保障」

ー A 小学校の工夫ー

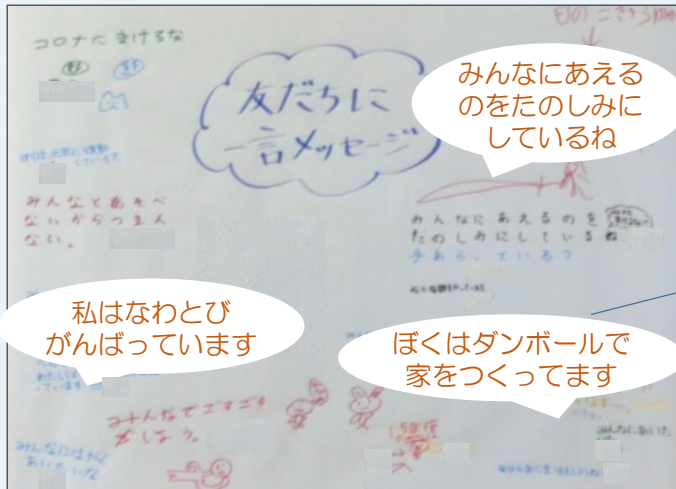
1 友と友をつなぐ工夫と配慮

すぐにでも活用できる工夫です。それぞれの取組の中に、会えない子とのつながりをつくり、家庭学習の取組を認めていく、担任の先生による子どもたちへの温かい配慮がうかがえます。



今日会えなかった友へ

分散登校中に学校で会えない友達へ、壁面の模造紙にメッセージを書き残しています。次の登校日にどのようなメッセージが残されているのか、登校するのが楽しみにになります。



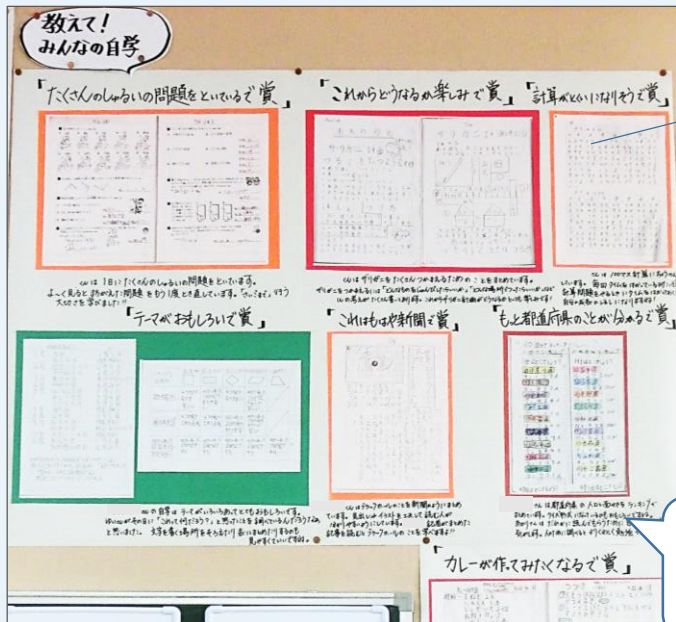
みんなにあえるのをたのしみにしているね

私はなわとびがんばっています

ぼくはダンボールで家をつくってます

オリジナル自学賞!!

それぞれの自学の取組にコメントが添えられ、丁寧に掲示されています。賞のネーミングにもユーモアがあって、子どもたちもきっと楽しみになることと思います。友達の工夫を参考にしながら、家庭学習での工夫が広がっていきます。



「これはもはや新聞で賞」
「もっと都道府県のこと分かるで賞」
「これからどうなるか楽しみで賞」

課題への取り組みを、丁寧に

なかさまで へびが出たので 大さわぎ
グミなげて ロでキャッチ 大成功
お手伝い 今日はいっぱい 血洗い
犬さんぽ 歩いていたら ひっぱられ
おふるあと 雪見だいふく まじうまい
虫さがし ベンベン草が じゃまだった
兄弟で テレビとりあい 話し合い
おじいちゃん テレビ通話で 会話する
ねてる時 犬になめられ おきちゃった
妹が 季節はずれの 歌うたう
宿題の 進みが順調 いい感じ
子どもの日 木登りマンガに 手巻きすし

パワーアップ 妹とやったら ごっつんこ
ひとりてに 佐久っ子カルタ 手が動く
うきわね おふるに入れて プールみたい
あますっぱい ロにひろがる。 ちおとめ
雨さあざあ 雷ゴロゴロ 音祭り
午前中 学校行ったら 5人だけ?
べんとうは ふつうじゃないぞ カレーだぞ
大そうじ 服多すぎて ワロワロた
早起きで もりもり食べる 朝ご飯
テレビ見て 勉強をして 無限のループ
おた飯 たくさん食べて ダンスする
ひまつぶし ゲームをしての けん玉だ

一日一句も回を重ねることにバラエティーに富んだ作品が多くみられるようになりました。
2回分の課題が提出され、展示してみんなで鑑賞をしたり、それをもとに続きの学習を深めたりしています。
提出されたものについては、確認を順次行い、見直しをして、不十分な点については再度チャレンジするように持ちかえっています。
予習の学習が多いので、とまどうこともありますが、必要な情報を教科書や資料集、地図帳などから見つけ出して、学習を進めていくことも、大切な力です。

学年学級通信で紹介

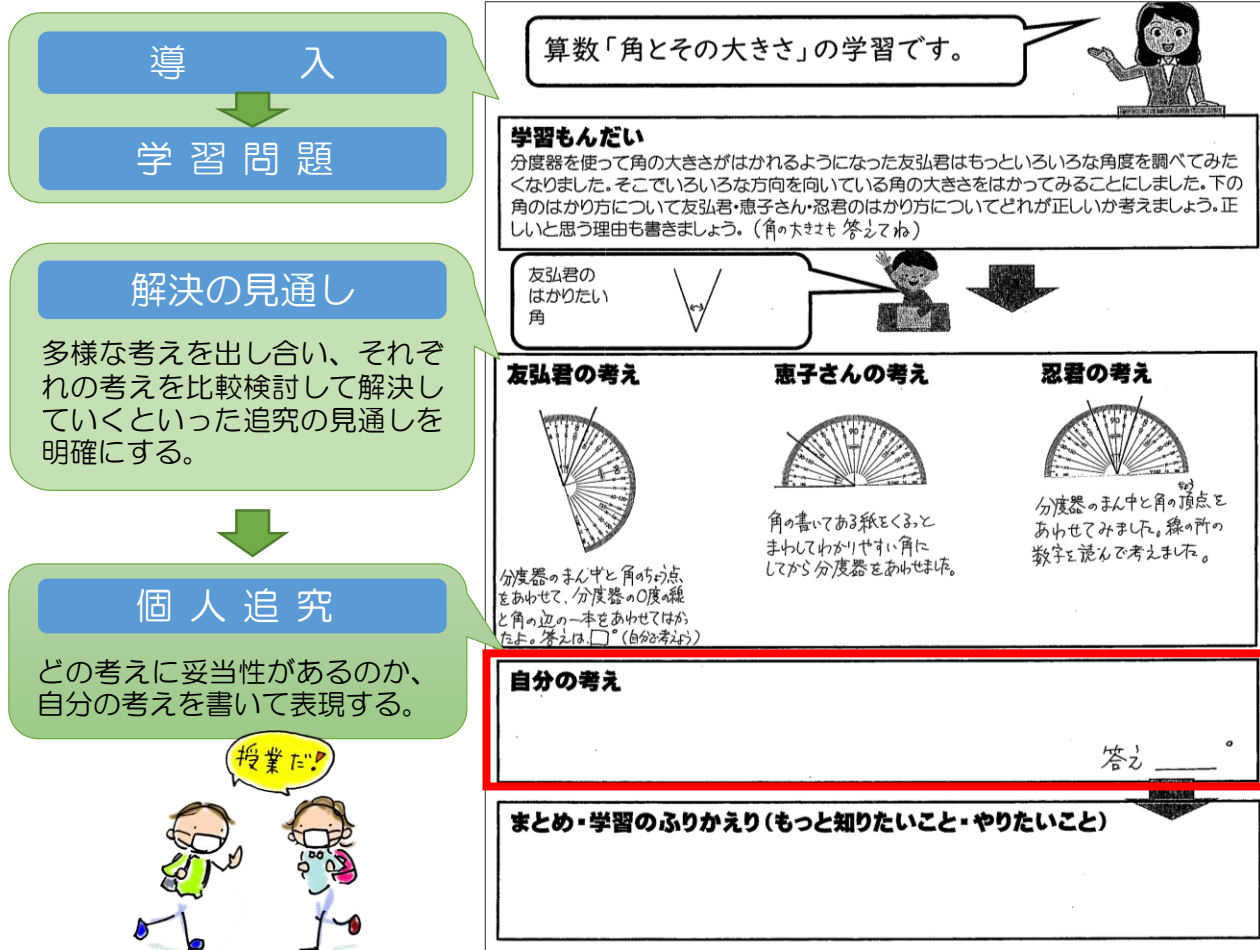
何気ない紹介のように見えますが、家庭学習を担当の先生がどのように確認しているかが家庭に伝わります。
「これいいね。誰の句かな？」
「これはね…たぶん…」
子どもたちの取組が、親子での話題になりそうです。家庭と学校がつながり、それが、子どもたちの家庭学習の励みとなります。

2 「個で考える時間」を家庭学習にする「予習型学習プリント」

- ① 「学習問題に対する『自分の考え』を家庭学習で記述」
- ② 「分散登校中の授業でそれぞれの考えを交流させ、解答を導き出す」

普段の授業の流れとの関連

①予習型学習プリント（4 学年）



②分散登校の授業で

意見の交流

問題の解決

振り返り (分かったことや自分の学び方等)



このような予習型学習を作成するためには、単元や題材のまとまりを見通し、習得型プリントをどこで課し、「予習型学習プリント」+「授業での意見交換」をどこでどのように行うかを構想していくことが大切になります。

各学校でも、分散登校中の家庭学習と学校での授業がつながるように工夫をされていると思います。このような「予習型学習プリント」への取組は、わたしたち教師自身の授業の質的向上につながり、子どもたちの学力向上につながると思います。